２０１９年度　平田中学校

図書館便り No.3

２０１９年５月１０日発行

図書館で、のんびり ひと休みしませんか？

新学期が始まって１か月経ちました。みなさん、新しい生活には、少しずつ慣れてきましたか？長いＧＷも過ぎ、今までの緊張が少しずつ解けて、心身ともに疲れの出てくる頃です。少し肩の力を抜いて、深呼吸してリラックスしてみましょう。昼休みには気分転換も兼ねて、図書室で本を読みながらのんびり過ごしてはいかがですか？文字ばかりの本を読むのはちょっと苦手、という人にも、写真集やコミックエッセイなど、読みやすい本もたくさん置いてあります。

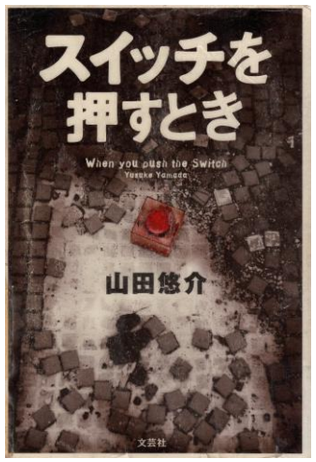
本選びの参考までに、何冊かご紹介します。気になる本があったら、ぜひ手に取ってみて下さい。

	声優なれるかな？ どうやったら声優になれるのか、そして声優の仕事はどういうものなのか、などについて、コミックで紹介しています。		空想科学読本 人気の漫画やアニメを題材に、実際に再現すればどうなるか実験し、確かめる面白い本です。図書館には17巻まで置いてあります。
	「悩み部」の結成とその結末 「悩み部」のメンバーが大活躍する連作短編集です。		そして、バトンは渡された 2019年本屋大賞受賞作品。継父継母の間をリレーされ、４回も名字が変わった少女。『家族』の大切さを感じる作品です。

５がつのブックトーク

毎月１回集会で図書委員おすすめの本を紹介します。
今月は３年１組と３年２組の担当です。

「スイッチを押すとき」



山田悠介　作　　文芸社

３年１組が紹介する本は、「スイッチを押すとき」です。この本は、人間はどのような極限状態になると自ら命を絶つのかという１つの実験からストーリーが展開されていきます。軟禁されて生活する男女４人とその監視員の男は、孤独に耐えられず命を絶つはずが、「生きる」という選択をします。そして脱出して彼女たちの生きて叶えたいという望みをかなえるために精一杯頑張るのですが、そこには考えもつかない運命が待ち受けていました。

みなさんは今を精一杯生きていますか？幸せを感じられていますか？人間の生と死について深く考えさせられる作品です。

ぜひ読んでみてください。

（３年１組）

「5 分間で心にしみるストーリー」

エブリスタ　編　　河出書房新社

３年２組が紹介する本は「５分間で心にしみるストーリー」です。

この本は、５分間という短い時間でも心を動かされる、そんな８つの超短編小説から構成されています。「え、これでおわり？」と感じる『リング』という話や、「もしも現実にあったら･･･」と考えさせられる、人の記憶を扱う『記憶銀行』という話など、内容に共感しながら読むことができるストーリーになっています。全体的に印象深い展開ですので、きっと読み終わった５分後にはあなたの心にきらめきを届けてくれることでしょう。短編集なので朝の読書の時間におすすめです。図書室にも置いてあるので、ぜひ読んでください。

（３年２組）

これから一年間、毎月の集会で図書委員がおすすめの本を紹介します。
いろいろな本が紹介されますので、みなさんの本選びの参考になるといいですね。
どうぞお楽しみに！